

令和7年度

北日本ヘア・スタイリストカレッジ 自己評価報告書

1 教育理念

- ・「人格の完成」、「心身ともに健康な国民の育成」とともに職業人としての専門的知識と技能を修得させ、国家、社会に寄与できる人材の育成を図る。
- ・わが国の伝統と文化を尊重し、国土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与できる人材の育成を図る。

2 教育目的

- ・本校は、美容師法の趣向に基づき、美容の専門技術並びに学術を教授し、併せて一般教養の向上の陶冶を図り、優秀な美容師の養成を目的とする。

3 人材育成像

- ・美を追求する」をモットーに、技術と人間性を磨き、ヘア、メイク、ネイル、エステなどトータルビューティーを担う「美のアーティスト」を育成します。

4 評価項目

4 (適切)、3 (ほぼ適切)、2 (やや不適切)、1 (不適切)

(1) 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	評価
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか)	4
・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4
・学校の理念、目的、育成人材、特色、将来構想などが生徒、学生、関係業界、保護者等に周知されているか。	4

① 状況

- ・教育理念や目標、育成人材像は時代に即しているか毎年見直され、それに準じた方針を校長が年度開始時に決定し、教職員に周知している。
- ・それらについて、パンフレットやホームページに掲載し、さらに令和7年11月29日、令和8年2月21日の入学前のオリエンテーションにて入学予定者と保護者へ周知を図った。

② 課題・改善策

- ・学校関係者評価委員会において学校の重点目標を見据えた会議を実施し、学校の重点目標の設定は、前年度の自己評価及び学校関係者評価の結果及び評価結果等も生かした重点目標を設定する。
- ・教員も人材育成像を念頭に置き授業に取り組む。

(2) 学校運営

評価項目	評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4
・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。	4

・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4
-----------------------------	---

① 状況

・事業計画について

5月10日 感謝祭「Family Thanks Day」2学年保護者参観を実施。保護者に感謝の気持ちを込めてネイル・シャンプーブローの技術を施術し、学生たちから親へのメッセージカードを渡した。とても感動し涙を流している保護者もいた。

6月16日 全日本婚礼美容家協会主催の留袖着付け学生の部に5名出場し1名金賞を受賞。

7月17日 3校合同運動会を開催。本校は最優秀応援賞を受賞した。

7月30日 日本理容美容教育センター主催の理容美容技術大会に10名出場し全校応援で参加しまつ毛エクステンション部門で敢闘賞に1名受賞。

9月10日 グループ校クッキングカレッジの協力を得て2学年がテーブルマナーを実施。

9月22日 1・2年合同レクリエーションを実施、1・2年の交流の場となり盛り上がった。

ミルボンフォトコンテストで北海道・東北エリア優秀作品に4作品入賞。

・情報公開については、SNSを利用し授業や行事の様子などを公開した。

・業務の効率化のため、パソコンの入れ替えを行った。

② 課題・改善策

・教員間で職員会議などを通して共通認識を図り、授業の進め方や行事計画等も検討していく。

・情報公開は継続して、最新情報をホームページ上で公開する。

(3) 教育活動

評価項目	評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。	4
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4
・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか。	4
・関連分野の企業、関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか。	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置付けられているか。	4
・授業評価の実施、評価体制はあるか。	4
・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4
・成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確になっているか。	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務を含め）を確保するなどマネジメントが行われているか。	4
・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4

① 状況

- ・令和8年度実施に向けてカリキュラムの選択課目の見直し、県への申請の準備をすすめている。
- ・顔分析の作品制作とプレゼンを6月18日に実施。今年度は新たにSNS担当を決めメイキング動画も制作し評価に追加することとした。グループワークの活動とコミュニケーションをグループ内でしっかり取れるような活動の場を増やした。
- ・企業より4月18日、6月2日、7月9日に校内デモンストレーションを実施しメイク業界・美容の仕事の現状や内容について深く学ぶことができた。
- ・授業評価を11月に実施した。
- ・6月4、5、6日と3日間の校外実習を行い担当者から明るい挨拶で意欲的に取り組んでいたなどの評価をいただいたが、その中で社会人として相応しく思われない行動をとっていた学生もいたとの評価もあり、指摘されたことは次年度の事前授業で伝え確認する。
- ・教務内規に基づき成績判定会議を実施し適正に評価している。
- ・教員研修について
 - 3月17日 「到達目標を意識した授業の展開と授業計画(シラバス)について」に7名参加。
 - 5月25～31日、6月9～20日(17日間) 公益社団法人日本理容美容教育センター主催の教員資格認定研修会に1名参加。
 - 6月3、4日 東北地区理容美容連絡協議会主催の即戦力講座に1名参加。
 - 7月14日 公益財団法人理容師美容師試験研修センター主催の美容師実技試験委員指導者研修会に1名参加。
 - 9月25・26日 東北地区理容美容学校連絡協議会主催の教職員4名参加。
 - 10月27・28日 理容師美容師試験研修センター主催の美容師実技試験委員の研修会に1名参加。
 - 11月11日 NPO法人日本ネイリスト協会主催の景品表示法オンラインセミナーに1名参加。

② 課題・改善策

- ・科目の意義や内容等を周知するためにシラバス(授業概要)を作成し、学生、教員、講師、実習先等へ配布する。
- ・「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」するための研修へ参加する。
- ・「専攻分野における実務に関する知識・技術・技能の修得・向上」、「授業及び学生に対する指導力等の修得・向上」及び「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」の3分類の教員研修へ参加する。
- ・これからも美容業界の実状に沿ったカリキュラムの見直しをしていく。
- ・企業と連携しながら授業展開を行う。
- ・今後も校外・校内実習を実施し外部指導者の評価を継続して実施していく。
- ・職員会議において学生の情報を共有するとともに、学生に対し成績評価の判定基準を周知する。

(4) 学修成果

評価項目	評価
・就職率の向上が図られているか。	4
・資格取得率の向上が図られているか。	4
・退学率の低減化が図られているか。	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4

① 状況

- ・就職内定率 100%を達成した。
- ・各資格試験合格率
ジェルネイル初級 受験者 42 名 合格者 42 名 (100%)
ジェルネイル中級 受験者 8 名 合格者 8 名 (100%)
メイク検定 3 級 受験者 58 名 合格者 55 名 (94.8%)
ブライダル検定 受験者 7 名 合格者 7 名 (100%)
- ・進路変更や体調不良が理由での退学者が昨年より増加した。

② 課題・改善策

- ・就職指導を行い、意識を高め、早期に就職率 100%をめざす。
- ・対面・オンラインでの会社説明の指導をして早期就職を目指す。
- ・資格取得に向けた指導を行い、合格率 100%を目指して、指導内容を再検討し早めに対応する。
- ・退学率低減のため、今後も退学者低減のため個別面談を継続していくとともに、保護者との連絡も密に対応する。
- ・卒業生・就職先へのアンケートの結果をもとに教育活動に反映させていく。回収率を上げる工夫も継続する。

(5) 学生支援

評価項目	評価
・進路、就職に関する支援体制は整備されているか。	4
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4
・保護者と適切に連携しているか。	4
・卒業生への支援体制はあるか。	4
・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか。	4

① 状況

- ・進路・就職について
4 月に本校独自のガイダンス、5 月に 2 学年最後の会場ガイダンス、7 月及び 2 月に 1 学年向け会場ガイダンスを実施し早期内定に向け就職の意識付けを図った。
- ・4、5 月に個人面談を実施。今後も継続して学生の相談に対応。2 学期に入り遅刻・欠席が増えた学生には個別面談や保護者面談し対応している。
- ・令和 7 年高等教育就学支援制度の対象者は 30 名である。また委託訓練事業を 4 名、教育訓練給付金制度を 1 名利用している。

- ・6月に腸内検査とレントゲン検査を実施。学生の健康管理のサポートを行った。
- ・新入生及び保護者に学校からの連絡メール送信する体制を入学式後のオリエンテーションで周知した。
- ・卒業生のフォローアップのため7月19日のトリックアートの技術展示に卒業生が参加「とても良かった」と感想をもらった。

② 課題・改善策

- ・今後も進路指導担当と担任と連携を図って支援をしていく。
- ・面接や進路相談、就職先の開拓などの就職支援活動を継続して実施する。
- ・遅刻、欠席等が続く学生にはこまめに連絡をし個人面談や保護者への協力依頼をしていく。
- ・今後も就学支援制度や委託訓練等について周知を図る。

(6) 教育環境

評価項目	評価
・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。	3
・防災に対する体制は整備されているか。	4

① 状況

- ・各教室の点検と整理・清掃を行い環境を整えた。
- ・1学年の校外学習を6月4～6日に実施。今年度は32店舗の協力を得た。
- ・韓国研修旅行の概要を入学前オリエンテーションにて入学予定者と保護者に周知した。
- ・5月7日に避難訓練を、10月9日に教職員向けに防災訓練を行い、消防設備の使用方法を確認した。

② 課題・改善策

- ・施設設備の修繕を計画的に行う。
- ・校外実習、研修先の環境について確認する。特に海外での研修については安全を十分に確保し、危機管理を持つ。
- ・危機管理マニュアルについて、時事的な事柄にも対応できるよう毎年見直しをかけ周知する。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4
・学生納付金は妥当なものとなっているか。	4

① 状況

- ・オープンキャンパスについて、各種様々な体験ができるように工夫した。また卒業生とメイクアップアーティストによる技術展示と体験も行った。

② 課題・改善策

- ・学校としての取り組みを広報するため、学校案内の他にオープンキャンパスやホー

- ムページにて周知する。
- ・在校生を交えながら本校の良さ・特色を高校生に伝えていく工夫と内容を検討する。

(8) 財務

評価項目	評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	3
・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4

① 状況

- ・財務基盤安定のため現状に合わせた予算を立案した。

② 課題・改善策

- ・中長期的に学校の財務基盤を安定させるためにも、財務計画を立案するとともに予算内での執行を心がける。
- ・予算の執行状況を定期的に把握する。
- ・入学生の増加に努める。
- ・財務に関する情報を継続して公開する。

(9) 法令等の遵守

評価項目	評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4

① 状況

- ・養成施設の実施基準に則り、法令の遵守に努めている。
- ・7月に自己評価を実施。問題点についての回答を行った。
- ・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているかを確認するために、自己点検を実施した。

② 課題・改善策

- ・自己点検を実施し、定期的な見直しを行う。
- ・今後も法令の遵守に努める。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	4
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4
・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的実施しているか。	4

① 状況

- ・6月22日 矢巾町活動交流センターやはば一く主催「子どもたちにヘア・メイク・ネイル体験」で学生12名職員2名参加。約230名の子どもたちが体験し好評を得

た。

- ・7月3日 もりおか町屋物語館で開催される「町屋のお化け屋敷」の美術用に本校学生が授業で使用したウィッグを寄付。SDGs の取組みへとつながり地域貢献にもなった。
- ・9月20日 八幡平市商工会主催の「子ども向け職業体験」に職員2名と学生3名参加。
- ・10月3日 未来図書館主催「色々な仕事に触れて将来を想像するきっかけを作る」滝沢小学校に職員1名派遣
- ・10月27日 北日本医療福祉専門学校で保育を学ぶ学生と美容を学ぶ学生とで子育てボランティアを開催。
- ・11月9日 見前南地区公民館主催「お仕事体験」に職員2名と学生8名参加。
- ・12月6・7日 盛岡文士劇にヘアメイク協力として職員2名学生10名参加。
- ・2月14・15日 岩手ビックブルズ主催のヘアアレンジ体験に参加
- ・委託訓練事業に毎年参加し、積極的に受託を行っている。令和7年度は4名実績。教育訓練給付制度は1名の実績。

② 課題・改善策

- ・社会・地域貢献活動をするための体制を整備し、継続していく。